

令和8年度 音楽科 年間指導計画 第6学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4 ・ 5	1.歌声をひびかせて心をつなげよう	5	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	学級活動 総合的な 学習の時間
	6 ・ 7	2.いろいろな音のひびきを味わおう	8	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについての思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)いろいろな音色が重なって生まれる響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、声の響きに親しむ。	
	8 ・ 9 ・ 10	3.和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう	9	(1)曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能、音楽の縦と横との関係などを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なり、和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、旋律をつくったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる和音の響きや音の重なりを親しむ。	総合的な 学習の時間 道徳
後期	10	4.曲想の変化を楽しもう	6	(1)曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想の移り変わりを味わいながら、歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる曲想の変化を味わう。	
	11 ・ 12	5.詩と音楽との関わりを味わおう	7	(1)曲想及びその変化と、旋律や強弱、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌詞と旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを味わう学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる詩と音楽との関わりを味わう。	
	1	6.日本や世界の音楽に親しもう	6	(1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴を生かして、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本や世界のいろいろな国の音楽のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本や世界のいろいろな国の音楽の特徴を味わう学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。	社会
	2 ・ 3	7.音楽で思いを伝えよう 国歌・校歌	9	(1)曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)音楽で思いを伝える活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。	学校行事 総合的な 学習の時間
年間授業時数			50		